

2024 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	頼 俊輔
演習テーマ	社会科学の文献を読む
演習の内容	<p>グローバル化のなかで、途上国では、児童労働、人権侵害、環境破壊、日本では、子どもやシングルマザーの貧困、地方の過疎化、過労死、孤立する外国人コミュニティ、など、経済活動によってもたらされる問題が数多く存在しています。自由な経済取引やヒトの移動が進む一方で、政府や自治体などの公共部門の役割は小さくなってきていますが、こうした問題への対応には、政府・自治体・NPO などが行う公共政策の役割が必要です。現代社会の問題について、グローバリゼーションと公共政策の関係を軸に、歴史を踏まえて長期的に考える、という方針でゼミを行っています。教員紹介はこちら (http://mswwres.meijigakuin.ac.jp/~yisa/dw/?p=338)</p> <p>上記の方針のもと、政治・経済を中心とした分野の重要文献を読み進めていきます。具体的な本は、演習内で相談して決めますが、どれになるにせよ、精読を必要とする歯ごたえのある本を読むこととなります。本を読むことを通じて、社会をより深く理解したいと考える人向けです。</p> <p>大学は 11～12 世紀頃に真理を求める人々によって作られたと言われています。大学の果たす役割はその時代と今では異なっているかもしれませんが、真理を追究する場であることに違いはありません。みなさんが大学で学ばなければならないことは、自分で問題を発見し、原因を究明していくことです。教員に出来ることは、みなさんに問題を与え、答えを教えることではなく、問題に対してどのような方法で分析するかを教えるにすぎません。自主性・積極性を持った学生を歓迎します。</p>
テキスト・参考書	
成績評価の基準	課題の提出状況、出席状況、議論への参加状況をもとに評価します。
校外実習	実施しない

校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	
選考方法	小論文および面接（申し込みをする場合は、オフィスアワーに参加するなど、必ず、事前に連絡をすること）。
小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	<p>「〇〇の二十歳の頃」</p> <p>自分が尊敬する人物〇〇（歴史上の偉人でも、お世話になった人でも、誰でも）を一人挙げ、その理由を記述する。そのうえで、その人物がどのようにして二十歳の頃を過ごしていたかを調べ、それがその後の生き方にどのような影響があったかを分析する（文献を参照し、インタビューした場合には、必ず文中に出所を示すこと）。</p> <p>2000 文字程度。A4 で 2 枚にまとめること（表紙は不要）。</p> <p>提出期限は、申込期限と同じ（5 月 26 日）。</p>
メールアドレス	rai@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・オフィスアワー	5 月 14 日（対面@8 号館 4 階の研究室）の昼休み（12：40 から）。上記のメールアドレスに予約の連絡をすること。
履修済・履修中であることが望ましい授業	南北問題、地域経済論、環境経済論、国際学特講 2（地域社会開発論）、農業経済・食糧論、経済原論、社会開発論、日本経済論
2025 年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	可能性あり。
備考	